



取扱説明書

この度は BLITZ AIR CLEANER を御買い求め頂き誠にありがとうございます。
作業に入る前に必ずパーツリストと照らし合わせ、部品がすべて揃っている事を確認して下さい。

■装着可能車両■ 注) 適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。

□車 名：TOYOTA CALDINA

□型 式：ST215W (ADVANCE POWER 除く)、ST246W

□エンジン：3S-GTE

□年 式：97/09-02/09 (ST215W) 02/09-05/01 (ST246W)

□製品番号：42049/26049/56049/59049

■重要事項■ <<本製品を装着される前に必ずお読みください>>

□本製品はノーマル車両を基準に製作されています。社外品(純正品以外)のパーツ(パイピングK I T、ブローオフバルブ等)を装着されている場合や事故歴のある車両の場合は本K I Tの装着ができない場合があります。

□本製品を上記車両以外に装着したり改造した場合、当社は一切責任を負いません。

□取り付け作業は平坦で安全な場所で、エンジンを完全に冷やし、パーキングブレーキ等をかけて車両を確実に停止させて行って下さい。一般道、交通の妨げになる場所での作業は行わないで下さい。

□車両のバラツキにより、コンピューターセッティングが必要な場合もありますので、ご了承下さい。

□エアフロアダプター部のボルトの締付けトルクに注意して下さい。過度なトルクでの締付けは、破損の原因となります。

■アタッチメント部パーツリスト■

アダプター	ジョイントアダプター	アタッチメントパイプ	ゴムホース	ステー	バンド	グロメット
						
1	1	1	1	1	2	1
M6×15	M6×20	M6ナット				
						
3	2	3				

●SUS POWER LM をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■

クリーナー本体	バンド
	
1	1

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要項目です>

- 1) フィルター先端部が奥に当たるまで、フィルターをしっかり押しつけた状態でバンドを締め付けて下さい。
- 2) エアーでのフィルター部(濾材)の洗浄はフィルター部(濾材)を外さないで行なって下さい。ステンレスメッシュがほつれる原因となります。
- 3) フィルター部(濾材)が汚れた場合はフィルター部(濾材)を交換(別売り)して下さい。その際ガスケットエレメントも必ず交換して下さい。
※弊社 SUS パワークリーナーウォッシャー、クリーナーメンテナンスキット
他社クリーニング製品は使用出来ません。
- 4) フィルター交換の際はフィルター部のステンレスメッシュが必ず外側を向くようにセットして下さい。
- 5) センターボルトは工具を使用せずに、手で締め付けるようにして下さい。
※推奨トルク：0.49~0.69N・m)
※過剰な締め付けトルクによる破損につきまして弊社は一切の責任を負いません。

●SUS POWER CORE TYPE をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■

クリーナー本体	バンド
	
1	1

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要項目です>

- 1) 定期的にコアを取り外し中性洗剤で洗浄してください。
※性能維持の為に 5000km ごとの洗浄を推奨致します。

●ADVANCE POWER をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■									
クリーナー本体		バンド		クーリングシールド		ロックプレート		M5六角頭ビス	
	1		1		1		3		6
M5六角レンチ		保護テープ							
	1		1						

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

※キットでお買い上げの場合は、クリーナー本体とシールド・プレートはすでに組み付けられています。

■可変式クーリングシールドの調整方法■

アドバンスパワーエアクリーナーでは、クーリングシールド部の高さを調整できる「可変式クーリングシールド」を採用しています。お買い上げ時の状態(最小)では取り付け時にバンドが締め付けられない場合があるほか、車両によっては取り付け後に調整が必要となる場合があります。付属の工具を使用して調整してください。

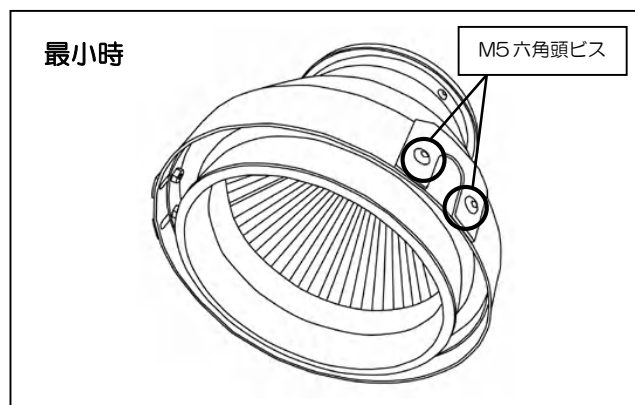


図 1

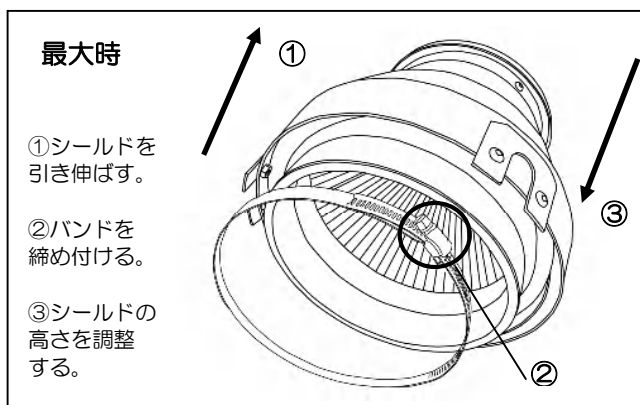


図 2

手順

3つのロックプレートそれぞれに2ヵ所ずつあるM5六角頭ビスを、付属の六角レンチを使用して緩めます。6ヵ所全てが緩んだ状態でクーリングシールドを引き伸ばし、高さを調整します。

最小の状態(図1)ではアタッチメントに取り付ける際に、バンドがシールドに隠れて取り付けにくい場合があります。一度引き伸ばしたあとにバンドを締め付け、周囲に干渉しないようシールドの高さを調整してください(図2参照)。

シールドの高さを調整したあとは必ずビスとナットを締め、シールドが固定されているかを確認してください。

※M5六角頭ビスを破損させないようにご注意ください。

※定期的にし締めしてください。

ご注意! 1) 車体各部に干渉しない位置に調整してください。

2) 車体の経年変化及びバラツキによりクーリングシールドのファンネル部分が車体に干渉する場合があります。その際は、保護テープを貼るかファンネルを取り外してください。(別途M4六角レンチが必要になります。)

※以上で、可変式クーリングシールドの調整は終了です。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要事項です>

フィルターの交換及び清掃に関して

●定期的にコア本体を取り外し中性洗剤で洗浄してください。

※性能維持の為に5000kmごとの洗浄を推奨致します。

※クリーナー部の汚れが酷い場合や破損している場合は、別売りのクリーナー本体をお買い求めください。

ご注意! 1) 他社メンテナンスキット及び灯油等によるフィルター清掃はエンジン損傷の原因になります。

弊社の保証外にもなりますので、絶対に行わないでください。

2) ロックプレート取り付け/取り外しの際、M5六角頭ボルトを破損させないようにご注意ください。

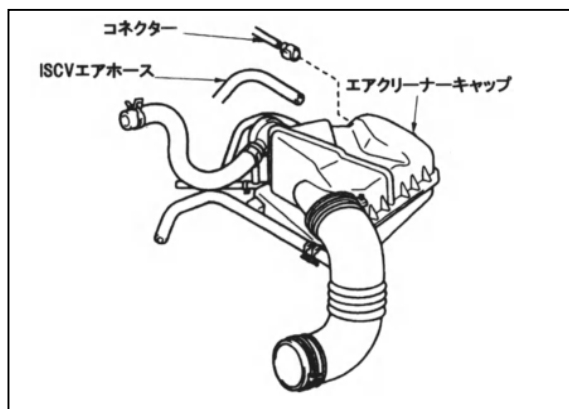
弊社にて作業者のミスによる損傷と判断させて頂いた場合は保証外となります。ご了承ください。

ST215W への当社エアクリーナー取り付け方法 (SONIC POWER 除く)

手順 1. ノーマルクリーナーの取り外し

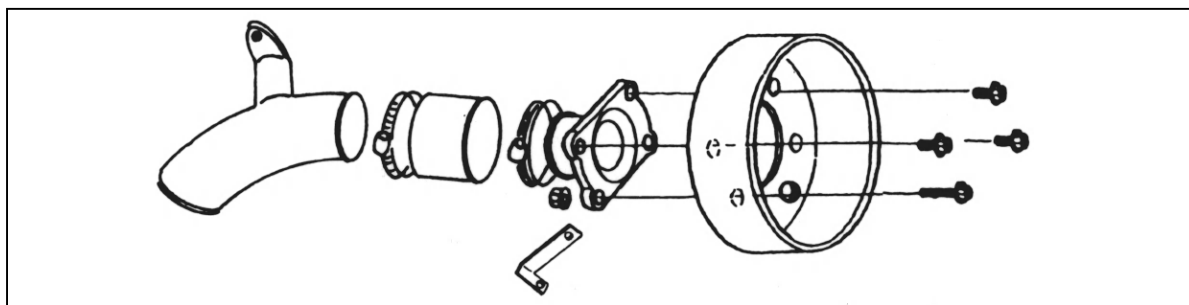
- 1) エアバイパスバルブをエアクリーナーキャップより外し (M6 ボルト2本)、エアクリーナーキャップ及びクリーナーケースを車両より取り外して下さい。

※吸気温センサーを抜き、配線を手前側にできるかぎり引き出して下さい。



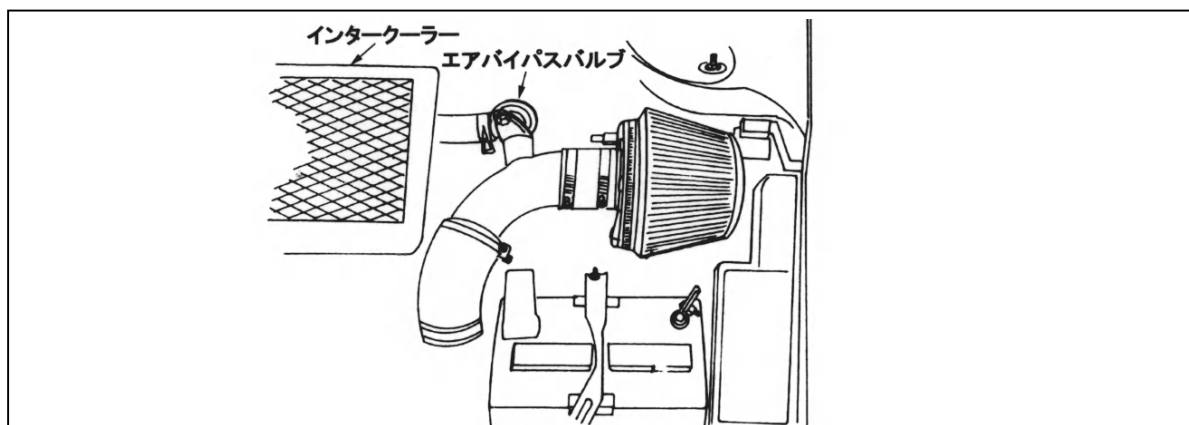
手順 2. SUSPOWER の組み立て

- 1) KIT 付属のグロメットをアダプターに取り付けて下さい。
- 2) アダプター、ジョイントアダプター、アタッチメントパイプをラバーパイプ、バンド及び付属のボルトを使用して組み立てて下さい。
 - 1.各部は仮止めにしておいて下さい。
 - 2.ステーはジョイントアダプターと共締めして下さい。



手順 3. SUSPOWER の取り付け

- 1) 手順 2 で組み立てたアダプターを純正サクションチューブに取り付けます。
- 2) アタッチメントパイプに純正エアバイパスバルブを純正 M6 ボルト及びキット付属の M6 ナットを使用して取り付けます。
 - 1.アタッチメントパイプと純正エアバイパスバルブのフランジ角度が合わない場合は、純正エアバイパスバルブとホースを止めているバンドを一度緩め、角度を調整して下さい。
 - 2.純正 M6 ボルトはアタッチメントパイプのフランジ側から入れて下さい。
- 3) 下図を参考にステー及び M6×20 を使用して車体に取り付けて下さい
- 4) 吸気温センサーをアダプターのグロメット部に挿して下さい。
※センサーが届かない場合は、配線をクリーナー側に引き出して下さい。(手順 1)
- 5) アタッチメントにコアを取り付けて下さい。
※コアと車体が干渉しないように、位置を調整して下さい。
- 6) 各部本締めして下さい。
※定期的に各部のまし締め他、メンテナンスを行って下さい。メンテナンス不良による故障や製品異常が発生した場合、当社は責任を負えませんことを御了承下さい。※定期的に各部のまし締めを行って下さい。



ST246W への当社エアクリーナー取り付け方法

手順 1. ノーマルクリーナーの取り外し

- 1) エアバイパスバルブ及び各ホースをエアクリーナーアップパーケースより外します。
- 2) 吸気温度センサーをエアクリーナーアップパーケースより抜き取り、できるだけハーネスを手前側に引き出して下さい。
※引き過ぎると断線する可能性もありますので十分御注意下さい。
- 3) サクションホースの純正ホースバンドを緩めフッククランプを外し、アップパーケースを外します。(図1参照)
- 4) 純正エアエレメントを外し、エアクリーナーロアケースを外します。M6×3本で止まっています。(図2参照)

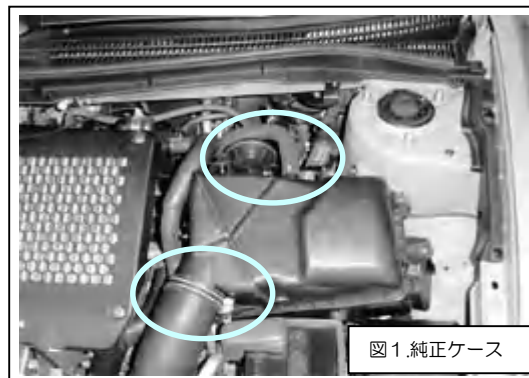


図1.純正ケース



図2.ロアケース

手順 2. SUSPOWER の組み立て

- 1) KIT 付属のグロメットをアダプターに取り付けて下さい。
- 2) アダプター、ジョイントアダプター、アタッチメントパイプをラバーパイプ、バンド及び付属のボルトを使用して組み立てて下さい。この時各部は仮止めにしておいて下さい。(図3参照)
ステーはジョイントアダプターと共締めして下さい。

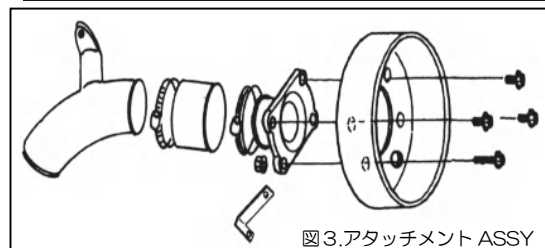


図3.アタッチメント ASSY

手順 3. SUSPOWER の取り付け

- 1) 手順 2 で組み立てたアダプターを純正サクションホースに取り付けます。
- 2) アタッチメントパイプに手順 1 で取り外したエアバイパスバルブを純正 M6 ボルト及びキット付属の M6 ナットを使用して取り付けます。
※アタッチメントパイプとエアバイパスバルブのフランジ角度が合わない場合は、エアバイパスバルブとホースを止めているバンドを一度緩め、角度を調整して下さい。純正 M6 ボルトはアタッチメントパイプのフランジ側から入れて下さい。
- 3) 図 4 を参考にステー及び M6×20 を使用して車体に取り付けて下さい。
- 4) 吸気温度センサーをアダプターのグロメット部に挿して下さい。
センサーが届かない場合は、配線をクリーナー側に引き出して下さい。(手順 1)
- 5) アタッチメントにコアを取り付けて下さい。(図5参照)
コアと車体が干渉しないように、位置を調整し、各部をまし締めして下さい。
※定期的に各部のまし締め他、メンテナンスを行って下さい。メンテナンス不良による故障や製品異常が発生した場合、当社は責任を負えませんことを御了承下さい。



図4.ステー位置



図5.取り付け図

開発・製造・発売元	株式会社ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
連絡先	0422-60-2277

取扱説明書番号	26049003
初版作製年月日	2010.6.1